

日刊 磐城時報

編輯兼發行所 田中 弘成
印刷所 磐城印刷所
電話 二二二
代印所 磐城印刷所
電話 二二二
電話 二二二
電話 二二二

どうやら困難らしい 磐銀の單獨開業

預金者少なからず失望 九月二日公金預金者會

平町磐城銀行の單獨開業案は六月二十三日縣廳經由大藏省に提出して以來二ヶ月余を経過したが、いまだ大藏省の承認を得るに至らないので同行預金者は勿論平町附近の商業者も不思議の眼で成行を注視してゐるが最近傳へらるゝ處では白井頭取を初め責任重役より提供した卅万圓の私財内容は頗る不確實なもの、藤利兵衛氏は世間で豫想する程の大金を出さぬた現在の状態ではとても承認は六つケしいといはれるので今にも開業を待たせてゐる預金者の反動的失望は益々深刻化し中にも卅萬圓近くを有する石城郡公共團體では来る九月二日石城郡町長會が開かるゝのを機として平町元中商業學校で公金委員會を開き對策を講ずる事になつたが、既に和議法により最後の解決を計る事になつてゐるから、開業不能と見極めがつけば一舉に最後の手段に出づる模様である、之について委員長伏見町長は語る「最近變な噂を聞くので近く委員會を開き責任ある重役の出席を求めてその後の経過を聞

電話直通

平、東京間
東京間直通電話は現内閣の緊縮政策關係で實現を危うくして居たが、急遽架設されることになり、工事も大半出来て居たため、保証して縣下で借受けの半局の豫定では九月中旬か下旬初頃までに通話が開始出された。

古警察署を貰つて 公會堂建設の計劃

縣で承諾せぬ場合は 各町村の應援を仰ぐ

平町では明年度新事業として公會堂兼用の建物が必要となり本會堂を建設すべく調査中の際、縣年度豫算に各種團體事務所新當局の緊縮訓令により流産の破産費一千圓以上あるを幸ひ右目に陥つたが、一方公會堂の代の新築費と近く不用になる平警署として従來使用してゐた元警察署本館を貰ひうけ之を公會堂會議室は平警察署の會議室に豫定地へ移轉改築せんと目下縣充當する事になつたので益々公當局と交渉中であるが、縣當局

來るであらうと言ふので一般から非常に喜ばれて居る、現在の東京通話水戸中繼になつて居るので混んで居る時は急報でも三四時間かゝり普通報なら小一日もかゝると言ふ状態であつたが直通線が出来れば急報なら直に、普通報でも一時間内外で通話出来るわけである。

四倉市場で 六萬圓借入

縣下産業組合組織の瀕市場における秋商購入資金は縣保證の下に既報の如く中央金庫から融通されるが、四倉瀕前石城販賣利

四倉市場成績

四倉市場二十八日取引左の如し。
出廻り千八百二貫、白蕪最高五圓九十八錢、最低三圓十錢、平均五圓三十四錢

稅務署長着任

平稅務署長小野美則の兩氏は二十八日着任二十九日平町官公衙を歴訪就任の挨拶をなした。

平局の電話當籤者 全部で四十名

平郵便局本年度増設電話の抽籤は二十九日元商業學校で行つたが當籤者左の如し。
一、片寄半三郎 二、吉田茂一 三、石川隆雄 四、鈴木留四郎 五、水口豊治郎 六、廣川榮 七、藤部三壽 八、利根川金三 九、藤原時康 十、白土利助 十一、石川忠治 十二、坂本正三 十三、只野忠康 十四、八卷新六 十五、宇佐美友次郎 十六、瀧井すなよ 十七、山口よしの 十八、松本三平 十九、三浦康太 二十、平東電社 二一、高倉精一 二二、志賀吟五 二三、多田井次郎 二四、萩原中八 二五、荒川銀治 二六、關彰二 二七、大橋秀冬 二八、菅本武雄 二九、柴田徳三 三〇、大谷武雄 三一、鈴木芳人 三二、田卷隆一 三三、佐藤源次郎 三四、三瓶善也 三五、桑原仙松 三六、鯨岡徹二

四倉漁港修築 町民は中止を希望

運動毎に町費がかゝる 主務省にその旨申達

本縣沿海四十里の間小名濱に新たに計劃せんとする事業並に次ぐ漁港としてこれが第二期修築これが設計などもこれを中止して港の必要に迫られてゐる四延べすべしとの由に同町への技師派遣調査も政府の主旨に反するの當然中止の運命になつた下に農林省へ築港調査の技師派遣を申請した處若し都合が一度出張する時は千數百圓宛の町費を消費しつゝありそのため町民舉つてその必要を叫ぶべき漁港修築へ運動に名を籍して町費を濫費するので一部にこれを機會にむしる一時中止し將來町財政の挽回を計つて一舉に完全な修築を計劃すべきであるとの説が擡頭してゐるのを知らぬ縣當局でも現下の情勢よりして適策なりとしこの意向を農林省に申達する事に内定した

高等刑事任命

平警察署五川駐在所大賀巡查は今回高等刑事係を命ぜられた。

赤井嶽藥師 九月二日例祭

石城郡赤井嶽藥師尊大祭は年々舊七月晦日(九月二日)に行はれ水戸方面より相馬、田村、石川郡山一圓の男女雜踏し例年數萬の出入を見るのであるが、この一夜は全山全く歡樂の巻と化すの盛況である本年は只本年春金華山より分譲をうけた宛婿もの鹿の放養もあり一層の参拜者を見るであらう。

支金庫事務

植田町警東銀行では来る九月一日から開始日からの區域の縣支金庫事務を取扱ふ事になつた。

國學院の 劍道選手來平

國學院大學劍道部選手一行十九名は市毛正平(六段)遠藤千代助(六段)兩氏引卒の下に九月十三

植田營林署 開設祝賀式

植田營林署の開署式は九月八日午前十時から同町八幡公園で行ふ。

平町に 盜賊頻々

平町二丁目小松服物店に二十七日午前二時頃ガラス窓を外し破り入り金品物色中を家人が發見したので逃走したが二十七日夜は平第一小學校に盜賊忍び入り職員室を荒してゐる物音に小使が目醒したので之亦逃走したが同一犯人らしいので平署で捜索中である。

藤田氏問題

青沼、多田井氏の聲明
平信用組合總代會は去る二十三日開催したが同總代會の協議内容並に當日に於ける平青年團長藤田榮助氏の行動に關し青沼平信用組合長並に多田井平青年團副團長の兩氏は交々語る。
「當日の信用組合會合は大谷久藏氏の不正事を摘發するためのものでなく定款一部變更外四項の條件を協議した臨時總代會であつた、而して藤田氏は當日午前中は縣主催の青年會と郡聯合青年團主催の青年會と青年講習會の開講式に列席したので平町民體育大會の準備にはそれ、係員があつて働いたので藤田氏は職務を放任したわけではなかつた」

幼児が タボ留をのむ

平四丁目八郎三女横山トヨ(二ツ)は廿七日午後二時頃母が落ちておいたタボ留を嚥下し苦悶し始めたのを發見警城共濟病院に於て腹部の切開手術を行った

身体に彈丸

石城郡好間村高木彌一(四八)は日露戦争に従軍し左足部に銃弾を受けた勇士であるが最近傷痕が非常に痛むので平町警城共濟病院でエツキス光線で見たり所骨の中に彈丸が喰ひ込んで居るためと判り二十六日切開手術を行ひ骨を削つて廿五日目で銃弾を取り出した。

常磐毎日で 民謡の夕べ

常磐毎日新聞社では九月四、五の兩日平町警察署で民謡並に新民謡の夕べを催す事になつたが演奏者は三島一、ソプラノ太田縫子の兩氏で三島氏は民謡に於ては御前講義の榮に浴した全體的の名手である。尚ほピアノニスト山田アキ子女史も來演する等で盛況を豫想されてゐる

原町通信

▲相馬山中の駒籠 相馬産馬畜産組合にては左の日に以て駒籠を執行する事に決定した。
▲九月十一日玉野、伊丹澤、深谷▲十二日津島、北宮▲十三日草野、關の澤、小宮▲十四日飯崎、石橋▲十五日大倉佐須

一家四名 腸チブス

原町多の助町二番地佐久間スセ(四七)同三女さくら(二二)の兩名は去る廿日腸チブスと決定し避病舎に收容された事は既報であるが、其後スセの夫車力業佐久間善春(四五)及四女の二人も同病に罹り二十七日之れ又避病舎に收容されたるが發病地の附近は棟割長屋の事とて嚴重の消毒を行ひたるが尙蔓延の兆ありとて理事者間にては豫防方法を講じつゝあり。

小高の腸チブス

高町の腸チブス患者一般は既報の如くなるも其後益々新患者續出し小高町字片草杉倫亮(二二)も二十六日腸チブスと決定し避病舎に收容されたが同町の患者は之れで十名の多きにつつあるも尙蔓延の兆あり同民は何れも恐怖しつゝあり。

鳥柳御料理

舞子井川
仕出しは迅速配達致します
平町南町平館隣り

鰻 魚 榮
蒲焼 電話四二四

貸家廣告

平町新川町二三番地
一階建、商店向き
平町新川町一八番地
平家、商店向き
右何れも水道つき
委細は御來談下さい
平町新川町
電話一三三 中野勇吉

佛國マルソー會社元詰
生葡萄酒
マルソー・ブランク・白 1.10
マルソー・ルージュ・赤
良品にして安價賣行飛ぶが如し
西村屋藥局

共 存 共 榮
融 金 ノ 易 簡
蓄 貯 ノ 味 趣
堅 固 ト 意 識
平町南町平館隣り
會商 無 城 警

毒 接 腸 胃
皮膚病 淋病 婦人病 専門
腸胃病 胃性村松 専門
院 醫 科 (七〇一話電町南平)

小店員募集

十五六歳の者 二一名
給料、待遇の点例外の特点を與へます
平町紺屋町十三(加納活版所西隣り)
雑砂豆 糖類 たまき 屋商店
田 卷 隆 一

正札堂

ナツフク
一年生 八圓十錢
二年生 九圓十錢
三年生 一圓十錢
四年生 一圓十錢
五年生 一圓十錢
平町四丁目停車場通

高久病院

醫學士 高久 忠
新瀨醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 雄
內科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

耳鼻咽喉科 專

氣管食道科 門

病室完備：自炊の便あり
平町南町 大和田醫院
電話一七〇番

滋養、強壯劑として愈々好評
偉大なる藥酒 **栗守酒**
朝の一盃は精力の根原、晩の一盃は休眠の助力
栗守酒特約店 **大平屋藥店**
代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目(電話六二二)

コラノスケ粕取焼酎 耐發賣

二合白瓶二十五錢(空瓶交換仕候)
平町四丁目平驛通り
永山酒造店總發賣元
電話二〇七番

外科 專 X光線科

平町南町
上田外科醫院
電話一二九番

◎三十日替り 常將の英氣當る可からず更
に巨砲を連ねて萬軍に見ゆ
日活作品 新人小川隆主演 原作有本有義 監督佛生寺彌作
錯 覺 研 辰 膝 栗 毛 全
近來小氣味よき名作……笑ひの中に皮肉な哲學が存在する
映畫
日活現代派超特作名畫 原作及後援朝日新聞社
脚色木村正千男 主演中野英治、入江たか子
記 者 朝 日 報 輝 全
特別出演 河部五郎、梅村琴子、葛木香一、酒井米子其他
常勝將軍阪東妻三郎が最初のザンギリ物
中村吉松復讐更生の大飛躍決死共演
監督犬塚稔學生の總指揮 原名「俄」改題
綺 明 開 化 異 相 十二卷
悲壯、凄慘、流血、砲煙中に見る人生の大悲喜譚 太泰總動員
學生テ！ 日活松竹 平 館 電 四 六 六

新妻眼科醫院